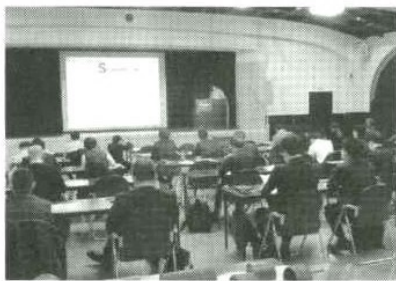


西部工業用ゴム製品卸商業組合 第60回商品説明会開く

吉野ゴム工業が環境改善商品など紹介



西部工業用ゴム製品卸商業組合（小島孝彦理事長）は、3月29日午後3時から、「第60回商品説明会」を開催。吉野ゴム工業が取扱営業品目やSDGsへの取り組み、商品の特長や取扱事例の紹介、予知予防保全システ

ムについての説明を行った。今回は会場の大阪市北区・中央電気倶楽部大ホールとWEBを使ったハイブリッド開催で、会場29名、WEB・54名が参加した。最初に同商組工業用品部会長の犬伏博明氏（コ

ーキマテリアル）が「混沌とした世の中になっ て、付加価値の高い製品が求められています。吉野ゴム工業さんはアイデアに富んだオリジナル製品を数多く開発され、SDGsに即した製品も取り扱っております。これからの営業活動や開発に役立てていただきたい」と挨拶した。

商品説明会では、最初に吉野ゴム工業総務部の村岡広絵氏が会社概要・主な営業品目を説明、会社の紹介動画が放映され、「理屈より実行、理論よ

実践」とする企業ポリシーを紹介した。また同社がSDGsで掲げている3つのテーマ「環境」「雇用・人権」「地域貢献・社会貢献」の活動について紹介した。またエンジニアリング部の東山弘樹氏は、同社が携わる環境事業設備について、事例を挙げて紹介。廃プラスチック搬送設備やアルミ粉砕部品搬送設備、バイオマス発電設備、管理型最終処分場設備といったリサイクルや環境などSDGsに関連した設備を数多く手が

けている。商品の特長や取扱事例は営業部業務課の柳橋佑花氏が担当。軽く、錆びず、付着しにくい特長を持つ「エコロンローラー」、付着防止が特長の「ノンアドEX」、次世代の発電に向けて難燃性、耐油性、耐摩耗性の特長を兼ね備えた難燃重耐油ベルト「BioFOA」、それぞれの特長や用途、事例を紹介した。いずれも、地球にも環境にも優しい製品となっており、身近な環境改善を図ることができる。最後に、営業部営業開発プロジェクトマネージャの谷充弘氏が「コンベヤ業界の未来は」をテーマに予知予防保全システムについて紹介した。このシステムでは、センサー（振動、温度、電流、接点）やカメラを使用することで、コンベヤ本体及び現場に行かずに管理監視ができ、部品の損傷を予知し、急な修繕作業が予防できる。このことで作業時間の短縮・削減が図られ、安全確保ができる。同社ではこのシステムを丹波篠山工場のデモ機に設置しており、労働環境の改善を目指して取り組んでいくとしている。